



## 健全者に関する課題として 考える地域の障害者福祉

今回の取材で感じたこと。それは、障害者アートが、地域に与える勇気や希望。しかし同時に、その向こうには、未だ存在する障害者への偏見、不足する地域の支援者・理解者、親自身の人生を歩む上での苦悩が見えた。このまちの、障害者福祉の現状だった。

障害は健全者にとって、必ずしも遠い存在ではない。超高齢化社会に突入した日本では、何かしらの持病を持ちながら、老後の生活を送る人が急増している。そう、地域の誰もが「障害者」となる可能性を持ちながら暮らしているのだ。

障害者福祉はもう、先天的に障害をもつ人だけの問題ではなく、未来の自分や家族の問題でもあるといえる。誰もが地域社会の一員として安心して暮らすためには、地域の誰もが、障害者福祉を「私事」として捉える必要がある。

## 出 会いが互いの理解を深め 普通に幸せな社会を築く

どんな障害も、それが不便でない環境の中では、障害ではなくなる。障害者が不便に感じる壁を少しでも低くする工夫と協力があれば、それぞれの能力に合わせた「自立」も不可能ではないはずだ。独りでできない点に注目するのではなく、何を独りでできるのかを共に考え伸ばすことが、社会の正常化、つまり「ノーマライゼーション」ではないだろうか。

障害者と健全者がふれあうことで、ノーマライゼーションへの理解が深まり、多種多様な人が相互に認められ、能力に応じた自立ができる地域社会が築かれるに違いない。

障害者も、その家族も、同じ地域に暮らす人も「普通に生きる」ための取り組みは、それぞれ立場は異なれど、分かれ合おうと努力し続けることから始まる。目を背けないことが「共生」なのだと思ふ。

そのためにも、互いを知る機会を無視しないで欲しい。誰もが、自分らしく生きることが、あきらめないために。市民一人一人が、このまちの「ピース」。そして、地域の誰もが、互いの一部でもあるのだから。

障害者の存在から目を背けないで欲しい

障害は地域の誰もが直面する私事なのだ

# 地域の誰もが 互いの一部分



絵「いっしょに歌おう」2011年

このまちは、さまざまな個性が組み合わさった「パズル」。あなたにしか埋められない地域の「ピース」があります。

そして私たちも、さまざまな可能性が集まったパズル。あなたの「理解」というピースをください。このまちでなら、「自分」という作品を、もっと大きくできるはずだから。

特集  
このまちの「ピース」  
完

### 相談

気軽に相談ください。島田市で実施されている、障害者福祉支援事業。12月3日(月)から9日(日)は「障害者週間」です。

#### 福祉課

基本理念「みとめあい、ささえあい、わたしらしくいきる」のもと、障害者福祉施策の一層の充実と推進に取り組み、さまざまな障害福祉サービスに必要な相談や支援を行っています。また、当事者やその家族に、相談員を委嘱しています。

☎36・7154

#### 障害者相談支援事業

地域生活を送るための支援を必要とする、身体・知的・精神に障害を持つ人およびその家族を対象に、相談事業を行っています。

☎36・7270(委託)

#### 駿遠学園

4市2町で構成する一部事務組合が運営する「福祉型障害児入所施設」として、入所・短期入所・日中一時支援・職能訓練などの事業を行っています。

☎46・4376

#### こども発達支援センター

「ふわり」では、心身の発達などに心配のある就学前の子どもに、定期・親子・並行通園をとおして、発達支援を行っています。

☎37・7094

#### 家庭児童相談室

来所・電話・訪問により、子どもに関する悩みを持つ人ならば、誰でも利用できる相談事業を行っています。

☎36・7253

#### 島田市社会福祉協議会

障害福祉サービス事業(身体介護・家事援助・日常生活援助など)や日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助・日常的金銭管理など)を行っています。また、福祉学習支援「福祉出前講座」(10ページ)の申し込みも、受け付けています。

☎35・6244(代表)